

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成 27 年 12 月 22 日（火）13 時 30 分～14 時 30 分
2. 場 所：石川県庁 行政庁舎 11 階 1109 会議室
3. 出席者：委員 22 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

(1) 「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

(委員) 低レベル放射性廃棄物輸送容器の蓋を固定するボルトの破損を防止するためにどのようなボルトに取り替えたのか。

(電力) 硬いボルトに発生する遅れ破壊が原因であり、これが発生しにくい少し軟らかめのボルトにすべて取り替えて、輸送を終了した。

(委員) 中央制御室床下のケーブル等の不適切な敷設について、これまで発見されなかった原因は何か。またなぜ今回、発見されたのか

(電力) 他社の不具合事例にならない点検したところ発見されたものであり、これまで当該箇所の点検は行っていなかった。

(委員) 床下のケーブルは施工時にしっかり点検されるべきものである。今後、そのような工事があればその段階でチェックしていただきたい。

(2) 「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）平成 27 年度第 2 報」、「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（平成 27 年度第 1 報）」の一部訂正について、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）平成 27 年度第 1 報」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

(3) 「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

(4) 前回の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。

(5) その他

(委員) 協議会に参加する委員について欠席や代理出席が目立つ。県民の安心安全を守るための重要な会議であり、積極的な参加をお願いしたい。

(会長) 今後もできるだけ多くの委員が参加できるよう委員の皆様にも日程調整にご協力をお願いしたい。

(委員) 北陸電力から国に敷地内破碎帯の調査に関する説明がしっかりとなされているのか。

(北陸電力) 平成26年2月から平成27年7月まで2回の現地調査と7回の評価会合が行われており、そのうち2回の現地調査と4回の評価会合に出席し、客観的データを提示して説明している。評価書案の結論は、シームの活動の可能性は否定できないと整理されたが、ピア・レビューではその根拠について様々な意見が出されたのが事実であり、今後の法に基づく適合性確認審査の中で活動性に問題がないことをしっかりと説明したい。

(委員) 今般、ピア・レビューが行われたが、今後の国の動きについて聞きたい。

(規制事務所) 有識者会合については、11月20日にピア・レビュー会合を開催し、現在、レビュアーからのコメントを踏まえて、評価書案の修正作業を行っている。評価結果がとりまとめれば、原子力規制委員会へ報告されるが、時期についての回答は差し控えたい。敷地内の断層等の活動性については、新規制基準に係る適合性審査の項目の一つとして位置づけられており、有識者会合による審査がとりまとめれば、それを重要な知見の一つとして参考にしつつ、改めて原子力規制委員会が審査を行う。

(会長) 原子力規制委員会での法に基づく審査においては、ピア・レビューでの意見を踏まえるとともに、調査を実施した北陸電力との議論も十分行った上で、科学的な根拠に基づき厳正な審査をしていただきたいと原子力規制委員会へ伝えていただきたい。

(規制事務所) 本庁の規制庁に要請を伝えたい。